

6 入学には年齢も経歴も不問 充実の講師陣で介護福祉士を育成

1972(昭和47)年に助産、看護、歯科衛生の3学科で開校した県立総合衛生学院は、2019(平成31)年に介護現場を支える即戦力人材の養成を掲げて介護福祉学科を開設しました。介護福祉士の資格取得を目指す2年制コースで、高校新卒者や社会人経験者、留学生など年齢も経歴も異なる学生たちが共に学んでいます。卒業後、介護福祉士として5年間勤務すれば、在学中に借りた修学資金の返還が免除される優遇制度*もあり

県立病院の医師や理学療法士等を招いて最新の医療や介護を学べるのも強み(写真は理学療法士による生活支援技術の実習)。



口腔(こうくう)ケアの実習では歯科衛生学科の設備を利用。他学科との連携で、より高度で専門的な技能を習得できます。

ます。団塊の世代が後期高齢者になる2025(令和7)年以降、介護福祉士はますます必要とされます。興味のある方はオープンキャンパスに参加してください。(同学院教務主任 神谷利恵さん)

*介護福祉士修学資金貸付制度
修学資金(月5万円)をはじめ、入学準備金や国試対策費など2年間で総額168万円を無利子で貸与。卒業後1年以内に県内で介護福祉士の仕事に就き、継続して5年間勤務すれば返還が免除されます。

●県立総合衛生学院中山手分校
●神戸市中央区中山手通7-28-33
☎078-361-4001 ☎078-361-2555
総合衛生学院

※助産、看護、歯科衛生の3学科は神戸市長田区の本校にあります。来夏には4学科とも長田区に建設中の新校舎に移転します

詳しくは6面へ/
12月にオープンキャンパス、
来年1月に
一般入試を実施します。

卒業生の声 中村浩三さん
(2021年度卒業)



特別養護老人ホームで働き始めて1年半。つい先日、古希を迎えました。週4日、1日5時間勤務で、食事や入浴、排せつの介助が中心です。65歳で入学するのは勇気が要りましたが、若い人たちの負担を軽くするためにも、「自分たちの世代は自分たちで支える」という気持ちが勝りました。定年を控えている方は、セカンドライフの選択肢の一つに介護福祉士を加えてはいかがでしょうか。仕事を通して親の介護、そして自らの介護について考える機会にもなります。



入所者をベッドから車椅子へ移します。「介助リフトのおかげで、腰に負担がかかりません」

ひょうごのSDGs | 県や県内の企業・団体が進めるサステナブルな活動を紹介

7 百人一首にも登場 淡路島のチドリを守る



百人一首で「淡路島 かよふ千鳥の 鳴く声にいく夜寝 覚めぬ 須磨の関守」と詠まれたチドリ。冬毛になると大福のような丸々としたかわいい姿に。

在学中の2022年に地域の人と「淡路島ちどり隊」を結成。現在は5歳から70代までの隊員約30人が島内11カ所の砂浜で調査や清掃、保護エリアの設置などを行っています。小中学校での環境学習やチドリ観察会も実施しています。浜辺でチドリを見つけてもそっと見守り、砂浜にごみを残さないなど美しい環境づくりに協力してもらえると嬉しいです。(淡路島ちどり隊 原彩菜さん)

●県立淡路景観園芸学校 ☎0799-82-3131 ☎0799-82-3124
淡路島 シロチドリ

8 高校生が開発 無添加×栄養豊富な鹿肉ドッグフード

きっかけは、学校で飼っている犬が2年前の夏に皮膚疾患を発症したことです。獣医師から原因の一つが餌にあると聞き、社会動物研究会のメンバーで話し合い、犬の健康を考えた無添加で安全なドッグフードの開発に挑戦することにしました。また、学内で育てた規格外で捨て



加古川市にある県立農業高校動物科学科の生徒が活動しています。

られる野菜や、駆除され廃棄されてしまう鹿が多いと聞き、命を無駄にしたいくないという思いもあり、鹿肉ドッグフードを手がける宍粟市の団体の協力を得て、約1年9カ月かけて完成させました。鹿肉は、低脂質な上、タンパク質や鉄分が豊富な栄養価の高い食材です。商品を通じて、食品ロスを少しでもなくしていきたいです。(県立農業高校 社会動物研究会ドッグフードプロジェクト班)



今年7月に完成した「県農オンリーワンドッグフード」は、1袋(50g入り)1,000円。パッケージデザインも考えました。資金はクラウドファンディングで募り、「カコガワドッグフェス」などのイベントで販売しています。

活動の様子は
こちらから



●県立農業高校 ☎079-424-3341 ☎079-424-2995
兵庫県立農業高校 ドッグフード